



ふらり らいふらりい

～図書室にはこんな本があります～



No. 165

★図書室では、3月1日（土）から14日（金）までの2週間、休室とさせていただきます。その期間、職員はどんな仕事をしているかを紹介します。

① 蔵書点検

書架の図書や雑誌が、決められた場所に正しく並んでいるかを点検します。間違った場所に本が置かれていると、請求を受けた際に職員がお客様に提供するのに、大変な時間がかかってしまいます。

② 新着資料の登録と配架

新着資料のデータをシステムに登録し、決められた書架に正しく配置します。一度に大量の本を配置するため、書架の本を大きく移動することになります。この期間は所定の場所から本が移動するため、資料の提供が一時できなくなります。休室とさせていただくのはこのためなのです。

③ 図書・雑誌の修理

ご利用いただく間に、図書や特に古い雑誌は、ページが外れたり紙がやぶれかけたりすることがあります。この期間にそういった資料をまとめて修理しています。

休室期間は、これらの作業を1年に1回、集中的に行っています。3月15日（土）からは新たな資料を加えて、皆様のご利用をお待ちしております。



決戦に向けて非常措置

今から 70 年前、昭和 19 年(1944)2 月 25 日、「決戦非常措置要綱」が閣議決定されました。具体的決戦実行目標として掲げられた以下の 15 項目は、3 月 1 日から実施されました。

1. 学徒動員態勢の徹底
2. 国民勤労体制の刷新
3. 防空体制の強化
4. 簡素生活徹底の覚悟と食糧配給の改善整備
5. 空地利用の徹底
6. 製造禁止品目の拡大と規格統一の徹底
7. 高級享樂の停止
8. 重点輸送の強化
9. 海運力の刷新強化
10. 平時的又は長期計画的事務及事業の停止
11. 中央監督事務の地方委任
12. 裁判検察の迅速化
13. 保有物資の積極的活用
14. 信賞必罰の徹底と査察の強化
15. 官庁休日を縮減し常時執務の態勢を確立

3 月 1 日から新聞は連日、要綱の実施状況を報じています。

1 日には東京歌舞伎座、大阪歌舞伎座、京都南座、東京劇場、新橋演舞場など 19 の大劇場の休場が決定、その後も帝国ホテルや精養軒などの高級ホテル、料亭をはじめバー・酒店など 9,800 軒が 1 年間の休業または閉鎖、6 日からは全国の新聞の夕刊が廃止されました。

輸送強化のため旅行も制限され、学校の校庭やゴルフ場なども農地として利用されることとなりました。国民学校初等科を除くすべての学校が 1 年間授業を停止し、生徒たちは軍需工場への動員が決定されるなど、要綱の内容は銃後の人たちの生活に多大な影響を及ぼすものでした。

◎参考文献：「昭和 二万日の全記録 6」(210.7/Ko19/6)開架
「朝日新聞縮刷版 昭和 19 年 1～3 月」(051/A/1944-1)閉架書庫
「史料週報 第三十巻」(317/Sh89/30)閉架書庫

—図書室から—

戦前～戦後の「お正月」と「雛まつり」

平成26年1月5日(日)～3月9日(日)まで、戦前～戦後の「お正月」と「雛まつり」をテーマとして、昭和館1階 資料公開コーナーにて雑誌の表紙など展示します。ぜひご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 165

2014 年 2 月 20 日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1